

## 国際舞台芸術フェスティバルの提案

### 1. 大阪のおかれた舞台芸術の現状

大阪には古くは江戸時代から、浪花 5 座と言われる名実ともに演劇・演芸界を代表する劇場と、それを取り巻く多くの中小の「小屋」があり、現代のブロードウェイのように一流を目指す芸人にとって、「道頓堀」は憧れの晴れ舞台であったが、現在ではすべて消滅している。

また、「関西小劇場のメッカ」とも呼ばれ、劇団☆新感線、南河内万歳一座、リリパット・アーミーなど関西の劇団が活躍した小劇場「フォーラム」を備えた扇町ミュージアムスクエアは 2002 年末に閉館、同じく大阪における演劇文化を支えた近鉄小劇場も 2004 年 2 月に閉館している。

このように大阪の舞台芸能は衰退し、現在の大阪の興行場・興行団業務の事業所数、事業従事者数、年間売上高は下記のようになっている。文化芸術面でも東京一極集中が著しく、大阪は他の都市と比べても低い水準である。

<興行場、興行団業務の都道府県別事業所数、事業従事者数、年間売上高>

都道府県	事業所数	事業従事者数	売上高 (万円)
全国	2,342	36,758	827,274
大阪府	179 (7.6%)	1,951 (5.3%)	35,506 (4.2%)
東京都	1,199 (51%)	18,277 (49.7%)	484,591 (58.5%)
神奈川県	143 (6.1%)	2,663 (7.2%)	32,642 (3.9%)
愛知県	113 (4.8%)	1,325 (3.6%)	44,177 (5.3%)
京都府	34 (1.4%)	481 (1.3%)	6,505 (0.7%)
兵庫県	68 (2.9%)	2,016 (5.48%)	46,751 (5.6%)
福岡県	73 (3.1%)	972 (2.6%)	37,268 (4.5%)

\*平成 26 年特定サービス産業実態調査報告書（経済産業省大臣官房調査統計グループ）抜粋

（ ）内は全国シェア

調査対象：

- ①劇場（一般劇、オペラ、ミュージカル、歌舞伎、舞踏、舞踊等）
- ②興行場（ライブハウス、寄席、野球場等）
- ③劇団（劇団、歌劇団、フリーの俳優、芸能プロダクション、コンサート・ツアー業等）
- ④楽団、舞踊団（オーケストラ、舞踊団等）
- ⑤演芸・スポーツ等興行団（落語家、漫才師、プロ野球団等）

## 2. 日本における国際芸術フェスティバルの現状

### 2-1 国際フェスティバルの定義

文化庁の国際芸術交流支援事業の「応募要領」には、国際フェスティバルを以下のように規定している。(要件を全て満たすこと) ※音楽・ダンス・演劇・大衆芸能・伝統芸能の部門別に助成される

- ① 我が国で開催される舞台芸術公演等であること
- ② フェスティバルの期間中に7日以上公演が実施されること
- ③ 広く内外の芸術団体が参加できる方途が開かれていること
- ④ 日本を含む3か国以上の芸術団体が参加して行われること

### 2-2 日本で開催されている国際芸術フェスティバル

全国で開催されている主なビエンナーレ(2年に1回)、トリエンナーレ(3年に1回)には以下の表のようなものがあるが、その多くはアート(美術の展覧会)を主体としたものである。

名称   開催地	第1回開催年	1890	1900	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
<b>国内</b>																														
東京ビエンナーレ(日本国際美術展)   東京都	1952																													
白州・夏・フェスティバル 白州アートキャンプ   山梨県	1988																													
福岡アジア美術ビエンナーレ*   福岡市	1999										2	3	4	5																
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ*   新潟県十日町市、津南町	2000								1	2	3	4	5	6	7															
ヨコハマトリエンナーレ*   横浜市	2001								1	2	3	4	5	6	7															
BIWAKOビエンナーレ   滋賀県近江市	2002								1	2	3	4	5	6	7	8	9													
岐阜おおがきビエンナーレ   岐阜県大垣市	2004										1	2	3	4	5	6	7	8	9											
中之条ビエンナーレ   群馬県中之条町	2007												1	2	3	4	5	6	7											
神戸ビエンナーレ*   神戸市	2007												1	2	3	4	5	6	7											
北九州国際ビエンナーレ   北九州市	2007												1	2	3	4	5	6	7											
開港都市にいがた 水と土の芸術祭   新潟市	2009																1	2	3	4										
別府現代芸術フェスティバル 混浴温泉世界   大分県別府市	2009																1	2	3	4										
あいちトリエンナーレ*   名古屋市、岡崎市	2010																		1	2	3	4								
瀬戸内国際芸術祭*   香川県直島、小豆島、高松市等	2010																		1	2	3	4								
西宮船坂ビエンナーレ   兵庫県西宮市	2011																			1	2	3	4	5						
十和田奥入瀬芸術祭   青森県十和田市	2013																					1								
国東半島芸術祭   大分県豊後高田市、国東市	2013																						1							
札幌国際芸術祭*   札幌市	2014																						1	2	3					
中房総国際芸術祭いちばらアート×ミックス   中房総エリア	2014																						1							
京都国際現代芸術祭   京都市	2015																							1						

ニッセイ基礎研究所レポートより抜粋

\*印は Biennial Foundation のサイトに掲載されているもの

各年の数字は開催回数で、実施分は白抜きで、今後の実施予定については、定期的に行われる場合を想定して記入

一方、全国には舞台芸術を主体としたものもいくつかあり、以下がその代表的なものである。

	主催	ジャンル	動員数	予算(収入)
フェスティバル/ト ーキョー (F/T) 毎年開催	実行委員会(アートネット ワーク・ジャパン、東京都、 公益財団法人東京都歴史 文化財団、豊島区、公益財 団法人としま未来文化財 団)	舞台芸術 演劇中心	のべ 5.5万人	約2億9千万円(2015) 豊島区・アーツカウンシル東 京・文化庁負担、助成金:2 億4,500万円

大道芸ワールド カップ in 静岡 毎年開催	大道芸ワールドカップ 実行委員会 共催：静岡市	大道芸		
ふじのくに⇄世界 演劇祭 毎年開催	静岡県舞台芸術センター	舞台芸術 演劇中心		
あいち トリエンナーレ 3年に一度	あいちトリエンナーレ実 行委員会（事務局：愛知県 県民生活部文化芸術課国 際芸術祭推進室内）	舞台芸術 アート	62.6 万人	約 10 億円（2013） 愛知県・名古屋市負担金・国 補助金：75 億円 支出：現代美術 6.4 億円 舞台芸術 2.2 億円
KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台 芸術祭 毎年開催	京都国際舞台芸術祭実行 委員会 [京都市、ロームシ アター京都（公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興 財団）、京都芸術センター （公益財団法人京都市芸 術文化協会）、京都造形芸 術大学 舞台芸術研究セン ター]	舞台芸術 演劇中心		—

### 3. 大阪への国際舞台芸術フェスティバルの必要性

#### 3-1 大阪の現状

1.で述べたとおり、大阪の舞台芸術の衰退は著しく、また 2-2 で見るとおり、2000 年以降、国内各地で盛んに行われている国際芸術フェスティバルや舞台芸術フェスティバルも開催されておらず、文化不毛と言えるような状態に陥っている。

そのために府民・市民がクオリティの高い文化芸術にアクセスする機会が減少するとともに、その文化芸術への享受力もまた低下しているのが現状である。

#### 3-2 舞台芸術の都・大阪の復活

国際舞台芸術フェスティバルを通じ、府民・市民が文化芸術に身近に接する機会を持つことにより、それを理解、享受する力が向上し、多様性を受け入れることができる社会を形成する。さらに文化理解度や享受する力が高い場所には、より良い人やコンテンツが集まり、舞台芸術の都・大阪の伝統復活につながるることができる。

### 3-3 国際舞台芸術フェスティバル開催による都市魅力の向上

国際舞台芸術フェスティバルを通して、大阪の文化芸術への取り組みや魅力が国内外に発信されることにより、海外へのシティプロモーションにもつなげることができる。

また、国際舞台芸術フェスティバルを単発のイベントとして取り組むのではなく、劇場の事業と連携したり、地域でアウトリーチ（学校や施設に出かけて行ってワークショップを行うなどの活動）を行い、一般市民や青少年に芸術に触れてもらうことにより、文化芸術の基盤として定着させ、大阪の 50 年後、100 年後まで続く魅力を発信し続けることができる。

## 4. 「国際舞台芸術フェスティバル」の提案

### 4-1 コンセプト

フェスティバルは、インターナショナルとローカルとの 2 層構造とし、インターナショナルは大型施設での大規模公演を中心にを行い、ローカルでは府内全域の中小施設での公演やアウトリーチ活動を中心に行うことを目指す。

### 4-2 演目

演目は、現代的なダンスやサーカス、大道芸など世界中の人が言語にとらわれることなく演じ、観覧できるノンバーバルなパフォーマンスを中心とし、世界初の国際ノンバーバルフェスティバルとすることで大阪の独自性を打ち出す。

### 4-3 開催頻度とスケジュール

開催頻度は、準備や予算を十分に確保しフェスティバルの質を維持するためにも、隔年開催（ビエンナーレ）が適当ではないかと考える。なお、国内の舞台芸術祭では、美術展は 3 年毎のトリエンナーレが、舞台芸術祭は各年開催が主流となっているが、海外の舞台芸術祭は隔年も多く、グローバルな視点からも海外フェスティバルとの連携を考えるにも、隔年開催が相応しい。

また、開催スケジュールは、文化庁が 2020 年東京五輪を文化の祭典としても成功させることを目指していることから、大阪においてもこの好機を逃すことの無いよう、2020 年を国際フェスティバルの開催初年とし、ビエンナーレとして 2018 年にプレフェスティバルを開催し、機運を高めていくことが重要である。

### 4-4 予算

日本で開催されている最大の予算規模であるフェスティバル/トーキョー(F/T)は、2.9 億円/年である。このフェスティバル以上の内容、規模のものを開催するため、6 億円規模の予算を投入すべきと考える。

### 4-5 会場



インターナショナルでは大阪城などのように街のアイコンとして集客力のある施設を利用し、シティプロモーションの一環として発信していく。

エディンバラ城（エディンバラ国際フェスティバル）

一方、ローカルでは府内各地に点在する座席数 1,000 席未満の\*中小規模施設と連携し、若手や中小団体などの公演やワークショップやトークセッションなどの普及教育イベント、アウトリーチ活動等の会場として利用していく。また、施設間を観客が流動する仕組みづくりも重要である。

\*中小規模会場の例 1：吹田市

	座席数
文化会館（メイシアター）	大ホール 1,379 席 中ホール 492 席 小ホール 156 席
千里市民センター	ホール 255 席
岸部市民センター	ホール 200 席
豊一市民センター	ホール 176 席
千里丘市民センター	ホール 234 席
山田ふれあい文化センター	ホール 260 席
内本町コミュニティセンター	ホール 210 席
亥の子谷コミュニティセンター	ホール 210 席
千一コミュニティセンター	ホール 100 席
千里山コミュニティセンター	ホール 180 席
地区市民ホール（8 箇所）	20～90 席

\*中小規模会場の例 2：堺市

	座席数
堺市民芸術文化ホール	大ホール 2,000 席・小ホール 300 席（2018 年秋）
梅文化会館	ホール 709 席
西文化会館（ウェスティ）	ホール 540 席
東文化会館	ホール 401 席の他、200 m <sup>2</sup> のフラットホール
美原文化会館（アルテベル）	ホール 536 席

## 5. 大阪観光局内に国際フェスティバル課を設置

### 5-1 ワンストップサービスの必要性

開催には警察や保健所、行政などに対する許認可申請等の雑多な手続きが発生するが、これらを個々の団体や個人が行うことは非常に困難であり、外国人にとってはほぼ不可能に近い。これらの課題を解決するためには、フェスティバルに参加したい人や観覧したい人の要望をワンストップで引き受ける組織と人材が必要となる。

### 5-2 専門人材の起用と育成

これまでも数多くのイベントが開催されているが、それらが継続する仕組みやイベントを再構築させる仕組みがないため、イベントが単に消費されてきている。これらを継続、発展させるためには、舞台芸術やフェスティバルについてはもちろんのこと、劇場、舞台技術、広報などに精通した専門人材が必要である。

さらに、他地域のフェスティバルのプロモーションやマーケティングを行うことができれば、フェスティバルと日本文化をミックスさせたインバウンド向けの商品を開発することも可能となる。